



典型的なファミリータイプのマンションをSOHOとした事例。バルコニー側を生活空間、廊下側を仕事空間と大きく二分した明快なプランで、全体に統一感のあるインテリアデザインとなっている。汎用性も期待できる計画である。

リフォーム前後の写真



自宅マンションを仕事場に。快適在宅ワークを可能にするSOHOづくり



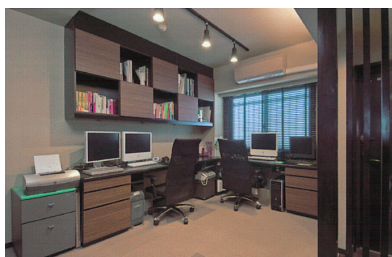
北側2室と玄関まで一体化して広さと明るさを確保したオフィススペース。入り口正面には、アクリル板とスリットを組み合わせたデザイン壁を設けた。



リビング側からオフィス側への通路には壁面収納をたっぷり取った。



リビング側は、ワンルムのLDK+ベッドコーナー。オフィス関係のものがなくなり、くつろげる空間になった。



集中できるオフィス専用スペース。デスクコーナーには、ドリンク置き場も設けた。



① ②



キッチンは対面式のオープンスタイルとし、開放感を出した。



洗面所にはペットのトイレスペースを設けた。

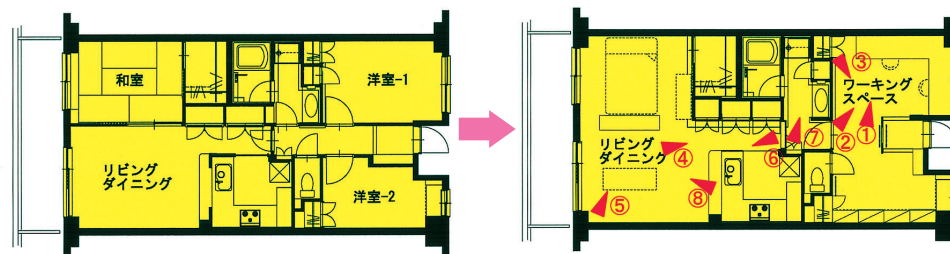


リビングは、TVボードを兼ねた3方向から使える収納で、ベッドコーナーと分けた。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など	
《リフォームの動機・要望》	て、大胆な間取りでオフィスと住まいのスペースを完全に分離した。
1. 夫婦とも自宅を仕事場にしているので、ワーキングスペースとリビングスペースをはっきりと分けたい。但し、イメージは同一に。	2. 玄関側の2室をまとめてオフィススペースに。玄関ホールと廊下をつくらないことで、広さと十分な北側採光を得た。
2. 仕事場はデスクを2人分、資料収納も十分設けたい。	壁まわりにはデスクと収納を設け、仕事に関するものをリビングに置かなくて済むようにした。
3. デザイン性を重視した生活感のない空間にしたい。	3. リビングスペースは、広がりを出すため、LDと一体化したベッドコーナーをつくり、収納棚で仕切った。
《リフォームのポイント》	
1. 若いご夫婦のオフィス&リビングづくり。シアトル系カフェのモダンでスタイリッシュな空間をイメージし	

特に配慮した住宅性能:	
データ	
所在地	神奈川県川崎市
構造/築後年数	鉄筋コンクリート 造/ 10 年
該当工事面積	65.7 m <sup>2</sup> /総工事床面積 65.7 m <sup>2</sup>
該当部分工事費	1,100 万円/総工事費 1,100 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人/65歳以上: 人/15歳未満: 人/ペット: 犬2匹
設計会社	(株)東急ホームズ
担当者	栗原 ゆきの
施工会社	同上
担当者	嶋崎 和美

リフォーム前 | リフォーム後



S=1:150